

紅花ルネサンス

vol.7 山形と地

2014年12月19日(金) [シンポジウム/ワークショップ] 12:00-16:00

20日(土) [シンポジウム] 12:00-15:30

〔ワークショップ〕

東北芸術工科大学本館前正面広場

〔シンポジウム〕

東北芸術工科大学

こども芸術教育研究センター内こども劇場

参加無料

〔出演者〕

吉岡幸雄 染織研究家・染司よしおか五代目

山岸幸一 染織家・日本工芸公正会員

中島洋一 古典織物研究家

大内理加 山形県議会議員・山形県紅花生産組合連合会会長

斎藤善一 山形市高瀬地区・高瀬紅花生産組合

森山明子 デザインジャーナリスト・武蔵野美術大学教授

三木弘和 劇団代表・東北福祉大学総合マネジメント学部教授

根岸吉太郎 東北芸術工科大学学長・映画監督

〔上演(シンポジウム2日目)〕

詩劇「花はくれない」 劇団TMS

演出・三木弘和 戯曲・森山明子

〔企画〕

東北芸術工科大学

芸術学部美術科テキスタイルコース

辻けい 東北芸術工科大学テキスタイルコース教授・美術家

山崎和樹 草木染研究家・東北芸術工科大学非常勤講師

柳田哲雄 東北芸術工科大学テキスタイルコース講師

〔協力〕

株式会社田中直染料店 株式会社誠和 藍染染料株式会社

有限会社スカイファームおさき リレラボ (lillelabo)





Relationship event

関連イベント

和太鼓「太恵(たいしん)」

2014 太恵 冬公演

2014年12月20日(土)

15:30開場/16:00開演

会場: 本学体育館

出演: 太恵 ほか

入場協力金: 一般 1,000円/他学生 500円

*高校生以下・本学学生、教職員 無料

Monitoring Information of Environmental Radioactivity Level

放射線モニタリング情報

東北芸術工科大学
山形県山形市上校田3-4-5
染料博物館(紅花畑)



測定地点: 地表1m

2011年11月14日(震災年) 0.089 μ Sv/h

2014年11月14日 現在 0.057 μ Sv/h

*文部科学省による

「除染対策を要する基準」は

1000 μ Sv/h以上の測定値の場合です。

放射線モニタリング情報(原子力規制委員会)

ご参照ください。
<http://radioactivity.nsr.go.jp/>

Access アクセス

●山形新幹線利用の場合

東京駅(直達150分)-山形駅

-(バス20分)-東北芸術工科大学

※山形駅前5番バス乗り場

「芸術工科大学前ゆき」乗車

●高速道路利用の場合

東北自動車道・村田JCT-(山形自動車道40分)

・山形県道IC-(10分)-東北芸術工科大学



Enquiries お問い合わせ

990-9530 山形市上校田 3-4-5

東北芸術工科大学

芸術学部 美術科 テキスタイルコース

辻 けい / 山崎和樹 / 柳田哲雄

tel.023-627-2000(代表) fax.023-627-2081

tel.023-627-2207(テキスタイル準備室・矢口)

mail. yaguchi.tetsuya@aga.tuad.ac.jp

<http://gs.tuad.ac.jp/textile/>

(※註) 半夏生は七十二候の一。夏至から11日目にあたる。

2014年12月

辻 けい

「種」を蒔く、ということは「生命」のいのちの不思議を思考します。今年もまた、比喩ではなく実際に、月山に心を合わせ、4月17日「種」を蒔くことから始まりました。38億年の記憶の海から今、内なる自然の声を聞き、今またその「生命」は繋がりました。想像から創造へと意識は紡ぎ出され、その先にある大切な「種子」は、一人ひとりの予言に満ちた不可視の可視化に繋がろうとしています。紅花の「半夏のひとつ咲き(※註)」。どのような敷地の広さに関わらず、先陣きつて蒔きの一輪が開き、そしてその後、次々に咲き始めます。今年は6月27日にひとつ開きました。この事実地球の、宇宙のドラマとどのように繋がっているのでしょうか。太陽の光、月の光彩のなかで紅花の生態とその不思議を学び、明日の人類の「知」と成り得るのだろうか、私たちは未来に向かって、どのような「種」を蒔き、どのような人類の遺伝子的世界像を描いていくのでしょうか。

vol.7 山形と地

12月19日|金| [シンポジウム/ワークショップ] 12:00-16:00

シンポジウム Symposium

会場: こども芸術教育研究センター内こども劇場

講演「紅花の魅力」 12:15-12:35

なぜ今、紅花染めのかなぜ手仕事なのか

山崎和樹 Kazuki Yamazaki

染織家・日本工芸会正会員

対談「日本の色 古代の染織を語る」 12:40-13:10

中島洋一 Yoichi Nakajima

古典染物研究家

山崎和樹 Kazuki Yamazaki

草木染研究家・草木工房主宰

「紅花プロジェクト今年度活動報告」 13:15-13:55

バネリス ト

山形市高瀬地区・高瀬紅花生産組合

柳田哲雄 Tetsuo Yanagita

東北芸術工科大学テキスタイルコース講師

モデレーター

移動・休憩(13:55-14:10)

ワークショップ Workshop

会場: 本館前正面広場

「紅花染ワークショップ」 14:15-16:00

※当日は汚れても良い服装でご参加ください。

屋外での作業になります。

防寒のご用意をお願い致します。

染め指導

監督

テキスタイルコース学生

山崎和樹 Kazuki Yamazaki

草木染研究家・草木工房主宰

お食事は学生食堂を御利用頂けます。(Open close 10:30-19:00)

※翌20日(土)は休みとなる場合有り。ご確認ください。

12月20日|土| [シンポジウム] 12:00-15:30

シンポジウム Symposium

会場: こども芸術教育研究センター内こども劇場

前日ワークショップ 寒中紅花染めお披露目 12:00-12:15

講演「粧いの色 紅花物語」 12:20-12:50

吉岡幸雄 Sachio Yoshioke

染織研究家・染司よしおか五代目

講演「紅花再興」 12:55-13:15

大内理加 Rika Ouchi

山形県議会議員・山形県紅花生産組合連合会会長

休憩・紅花茶(13:15-13:35)

詩劇「花はくれない」 13:40-15:20

劇団TMS Gekidan TMS

三木弘和 Kowa Miki

劇団TMS代表・東北福祉大学総合マネジメント学部教授

森山明子 Akiko Moriyama

デザインジャーナリスト・武蔵野美術大学教授

モデレーター

辻 けい Kei Tsuji

東北芸術工科大学テキスタイルコース教授・美術家



*昨年の「紅花ルネサンス vol.6」に参加された森山明子さんの書き下ろし詩劇。

<花はくれない>は、イザベラ・バード『日本奥地紀行』を導入として、芭蕉ほかの登場人物が「本当の日本」を、紅花人に問う詩劇です。